

日本放射線技術学会中部部会 第2回医療情報システム研究会 in 福井
シンポジウム

テーマ：「Digital Mammography と医療情報システム」
— フィルムレス環境の中で扱う Digital Mammography —

PACS (Picture Archiving and Communication System) の導入により医療機関ではフィルムレス運用が広まってきています。その中でも、Digital Mammography の導入が大きな課題として扱われています。Mammography は、検査の性格上、高精細な画像が求められ、必然的に大変大きな画像データ量を持つこととなります。

そこで、以下に示す問題をクローズアップして行いたいと思います。

問題1：フィルムレス環境での膨大なデータの取り扱い

問題2：フィルムレス環境での高精細画像のモニター診断

今回の医療情報システム研究会ではシンポジウム形式で、この2点に焦点を当てながら、各領域の専門家の先生方に講演をお願いし、Digital Mammography を多角的に捉えます。

特に、臨床的にどこまで高精細の画質が必要で、そのデータ量はどの程度になり、システムで扱ったときの蓄積と通信への負荷について議論するとともに、モニター診断への要求・課題・解決策について実務的な議論をしたいと思います。

《日時》平成21年9月19日(土) 13:00~16:00

《会場》福井大学医学部(松岡キャンパス)附属病院 研修センター 白翁会ホール

TEL: 0776-61-3111 (3394) <http://www.fukui-u.ac.jp>

《募集人数》50名程度

《参加費》会員：無料 非会員：500円

《主なプログラム》

	座長	福井大学医学部附属病院	上坂秀樹
		豊橋市民病院	原瀬正敏
1	Digital Mammography をどう使うか	福井県立病院	西出先生
2	Digital Mammography を提供する側として	シーメンス旭	橋本先生
3	Digital Mammography のモニター診断ソリューション	東陽テクニカ	小林先生
4	診療現場での Digital Mammography への対応	福井大学医学部附属病院	大谷先生